



新保 峰孝 議員

質問 合併10年の検証と課題、 今後のまちづくりについて

1市2町合併後の人口の推移についてはどうか。

今後のまちづくりについて、定住支援、子育て支援策等の充実、年をとっても安心して暮らせるための施策の充実、健康寿命を延ばす取り組みにより、暮らしやすく市民が誇りをもてるまちづくりをめざすべきではないか。

また、1次、2次産業の振興、有利な地域資源を活かした誘客等、地域資源を生かした産業の振興が必要ではないか。

▼市長答弁

総人口、3地域人口とも合併時と比較して、約10パーセントの減少となっている一方、世帯数は横ばいであり、核家族化や高齢者の単身世帯が増えている。婚姻数についても減少傾向が続いており、抑制

する施策が必要と考えている。

年少人口、生産年齢人口についても減少傾向が続いており、市内の産業や経済活動への影響が懸念されている。老年人口については、しばらく増加するものの、その後は減少するものと見込まれている。

まちづくりについては、これまでも定住支援や子育て支援に取り組んでおり、新年度には定住促進課を中心に、移住・定住対策に重点的に取り組み、また、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築、「健康いといがわ21」に基づく健康寿命の延伸に取り組んでいく。

また、産業の振興について、第1次産業は、魅力ある糸魚川の地域資源を最大限活用して、都会からの担い手確保と6次産業化の取り組みを進めていき、ジオパーク戦略プロジェクトを着実に進めることにより、ヒスイや食などジオパークを生かした誘客の取り組みを推進していく。



吉岡 静夫 議員

質問 B&Gプール改修工事

当初見積り3,080万円、契約金額3,100万円、それが工事にかかってみたら実は4,800万円を超える、やむなく補正。これに対し、「オカシイ。それですませていいのか」の声が市民サイドからあがり、私も取り上げた。これに対し、市長は、前12月定例会で「設計段階での十分な調査と設計積算の精査に努めてまいります」と答弁している。

何をどう「設計段階での十分な調査」をし、「設計積算の精査」をしようとしているのか。今現在、どのような動きになっているのか。今後、同旨事案の起こらぬようにとの思い・願いでの質問・訴えと受けとめ、対応されたい。いかがか。



能生B&G海洋センタープール

▼市長答弁

今回のように事業費が増大する可能性のある工事においては、詳細調査を先行して行い、必要な予算を措置したうえで、工事を発注していく。

質問 ジオパーク

日本ジオパークが36地域、世界ジオパークが世界で32か国111地域、うち、日本国内では7地域、そのひとつが糸魚川。日本ジオパーク事務局の事務所が、それらジオパークの中のひとつの糸魚川市の東京事務所の中にある。これでいいのか。

▼市長答弁

日本ジオパークネットワークの理事長を務める立場として、ジオパークの一層の推進を図るうえで、今後もこの体制を継続していきたい。

その他質問項目

- 権現荘・温泉センター
- 桂・工場用地
- 旧姫川病院
- 市の「広報」